

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・特にお盆期間中の売上は前年比118%と好調であった。加えてギフト商材も好調で、良くなっている要因の1つといえる。
	◎	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・8月は1年のなかでもハイシーズンのため、良くなっている。
	◎	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・今月は全国大会等のイベントが多数あり、宿泊部門は高稼働、高単価で動いている。料飲部門は通常オフシーズンの8月だが、全国大会の会食や同窓会等の受注ができたため、高稼働である。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・例年になく酷暑が続いているものの、前年よりもお盆休みが取りやすい日並びであったためか、売上達成度で比較すると3か月前より若干良い状況が前月から続いている。ただし、8月16日と28日以降については、台風接近の影響で売上が極端に落ちてしまっている。天候に左右されるのは観光業の宿命だが、例年8月末は購買意欲の高い客が来店するため、非常に残念である。
	○	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・次世代型路面電車の開業1周年や食品売場の改装もあり、全体的に来客数が増加している。
	○	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	販売量の動き	・夏休みということで子供の昼食需要があり、買上点数が多く、売上が伸びている。
	○	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・宿泊代や交通費の価格高騰にも客が慣れてきたので、手数料ビジネスの当業界は前年よりも利益が出ている。
	○	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・コロナ禍で消えた案件の依頼が回復傾向にある。
	○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・猛暑や旧盆期間の台風の発生や接近等、マイナス要因が多く懸念していたものの、旧盆期間の日並びも良く、前年を上回る来園者数になっている。
	○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・客からの問合せが増えてきている。建築業界だが、価格高騰はありつつも必要に迫られて動き出している。
	○	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今月に入ってから店舗関係の引き合いが増えている。飲食店関係や、大きい物でいうと、工場、倉庫等が活発に動いている。ただし、事務所関係は、相変わらず停滞している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・猛暑日が続くなか、ようやく店に来てくれた高齢の客は購入数も最小限で、節約志向が顕著に表れている。こうしたこともあり、景気が上向くことは当分の間、望めない。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・連日の猛暑のなかでも、各地の納涼祭や花火大会には出掛けている人が多い。買物については食品の値上がりが続いており、また、主食の米が品不足で高値となっているが、売り切れの状態である。客はチラシを見ながら、控えめに買物している。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・猛暑日が続いているものの、来客数は堅調に推移している。夏季休暇による外出機会の拡大に伴い、アパレル全般が好調に推移している。一方、その他の商品群は伸び悩んでおり、トータルでは前年実績レベルである。
	□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・アイテムやオケージョンで売行きは違うが、地方ならではのお盆や帰省関連商材の売行きは好調である。ファッション関係、夏物のクリアランスセールも堅調であったが、猛暑の影響で秋物の動きにはばらつきがある。
□	百貨店（店長）	販売量の動き	・売上、来客数共に、前年同月比100%前後で推移している。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・来客数の推移が悪い状態で下げ止まり、回復傾向に向かわない。チラシ初日やイベント時でも来客数の伸び悩みが続いている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・今月は年金給付月で、お盆が重なったことや台風の影響、天候に相当左右された部分もあるが、本当に客が出てこない。今後どうなるのか、本当に笑えるほどひどい状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・相変わらず、新車や中古車等の販売が良くない分を、車検整備等のサービス部門の促進でカバーしている。減収で利益は横ばいである。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量はやや落ちてはいるが、細かい販売や修理はそこそこ動きがある。客もそれなりに出入りがあり、総合的にみて変わらない。ただし、良くも悪くも、デリケートに動く傾向はある。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・台風接近や南海トラフ地震臨時情報の発表等の影響で、防災用品の販売動向は上がっている。ただし、一時的なもので景気を左右するほどではない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・猛暑とゲリラ雷雨により来客数にマイナスの影響が出ている。株価や為替の大きな変動や政権政党の総裁選の話題等、不確定な要素が多く、前向きの消費にはつながっていない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店（総務担当）	お客様の様子	・来客数が減少している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・気候変動や各種感染症の流行等で、団体客が若干減少している。猛暑のため、天候の良い日の個人客の来店に依存している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・相変わらず、宴会等の予約は入っているものの、フリー客の動きが鈍い。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・猛暑や天候不順の影響等で、葉物野菜が値上がりする等の新たな要因が出て、総体のコストが上振れする傾向が続いている。主力の給食部門は収支が圧迫され、更なる取引条件の見直し交渉が必須となっている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・夏休みがほぼ終了したが、かなりの猛暑と天候不順のためか、日本人客の来訪者数が今一つ伸び悩んでいる。一方、外国人来訪者は堅調で、東南アジアよりも西欧諸国からが目立っている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・夏休み中だが、客の動きは3か月前と変わらない。通常なら増えてくるが、目立った動きはない。
<input type="checkbox"/>	タクシー（経営者）	お客様の様子	・暑さのため、人の動きが悪く、前年同月比4%の減少である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	販売量の動き	・顧客満足につなげるため、当社独自のサービスを継続し企業努力している。結果として、同業他社との差別化につながっている。特に近隣の同業他社との差別化が顕著である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・インバウンド効果等、関連業界の売上は好調のようだが、物価高や実質賃金の低下により、国内消費、景気は変わらないのではないか。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・来店客の節約志向が続いている。メンテナンス上の予防安全は必要なことと理解はしているものの、極力最小限の出費を望み、多少の持続性は了承し、保証期間を犠牲にする形の注文が、率にして入庫数の約60%と多数を占めている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・住宅ローンの基準金利が来月から上昇するため、様子見状態で販売が一時停滞している。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・コスト重視かつ修繕やリフォームが必要になってから受注が入るケースが多い。提案を行ってもなかなか受注に結び付いていない。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・祭り等の催事が一段落したこともあり、やや悪くなっている。

	▲	百貨店（店長）	お客様の様子	・株価や為替の変動、各地での地震や台風接近、豪雨等自然災害の多発等の影響もあり、客の反応が少し厳しくなった印象を受けている。8月中旬頃までは堅調だったこともあり、もう少し動向を見定めなければ何ともいえない。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は台風の影響もあり、観光客が大幅に減っている。
	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前年比では前月の売上は103%だったが、今月は100%で着地予定と若干悪くなっている。好調な商材はテレビで125%、不調だったのはエアコンで85%と振るわなかった。
	▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・稼働日が少ないことと来客数の減少傾向もあり、受注が上がり、登録台数も減少している。
	▲	一般レストラン（経営者）	それ以外	・仕入価格がまたいろいろと値上がりしている。売価はまだ値上げできないが、影響は出てくる。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症発生前は、地方ではお盆の帰省時はタクシー利用が多かったが、今では景気が悪いせいとか、自家用車の送迎が多く見受けられ、利用客は少ない。お盆休みでお金を使ったためか、夜～深夜にかけての人も少ない。
	▲	通信会社（総務担当）	来客数の動き	・例年8月は来客数が減少するが、今年も3か月前と比べて約90%となりそうである。
	▲	通信会社（局長）	単価の動き	・現状の値上げトレンドに客は慣れを感じ始めている。その結果、節約志向を助長させ単価の低い物でない購入に至らない。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	販売量の動き	・商材価格が上がっており、購買意欲はなくなっている。
	▲	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・猛暑と降雨の影響で来場者数は減少している。お盆も予約の動きが鈍く、天候の影響で直前のキャンセルが出ている。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・7月の売上は良かったものの、8月は前年と比べても客足が伸びずに苦戦している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・7月と比べれば客が多い。特に、お盆時期の来客数は多かった。
	×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、残業や休日出勤は少ない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・猛暑に加え、台風や豪雨、米不足等による物価高で、お盆休み以外は全く動きがない。
企業動向関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・依然として全体の仕事量は低調だが、新規案件の引き合いは着実に増えつつある。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ほとんどの取引先で受注価格を10%から15%くらい上げてもらえ、取引先もまずまずの状況である。
	○	金融業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注や販売価格共に改善がみられるものの、一部企業ではまだまだのところもある。
	○	司法書士	受注量や販売量の動き	・ここ1年以上になるが、相続登記が義務化に向かい出してから、大分良くなっている。やや良い仕事量で推移している。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・猛暑対策をして、通常どおり頑張っている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・数十社ある取引先の何社かは忙しくなっているが、全体的な受注量を考えると、低空飛行が続いている。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・主要取引先の生産が安定しない。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・最近、各地で地震や大雨による災害があり、防災グッズ、特に防災バグー式、簡易トイレ、電池、備蓄飲料水等の輸送量が増えている。また、省エネエアコンの物量も増えているが、ドライバー不足や燃料価格の高騰により、コスト的には利益が薄くなっている。

	□	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・値上げを受け入れる取引先が増えているのは喜ばしいが、清掃に関する契約見直しにより売上が減る取引先も出ている。全体的には横ばいを維持するのがやっとである。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・夏休み期間で人出がそこそこあり、夏季及び旅行等の消費は順調である。しかし、地域の下請企業の受注や生産等の業績面にはいまだ追い風が足りない。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・賃上げやボーナス増加といった話はあるが、今のところ業績に変化はない。
	□	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。
	▲	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・飲食店の閉店が非常に増えている。コロナ禍が明けても客足が芳しくない飲食店も多く、ゼロゼロ融資の返済が厳しいという声をよく聞くようになっている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この景気の悪さは、もしかしたら半年かそれ以上続くのではないかという見方が出てきている。当社だけでなく、周りも皆、かなり落ち込んでおり、厳しい状況である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・夏休みやお盆の時期で、人の流れもかなり動きがあり、観光地やホテル、旅館、一般土産等の小売、衣料品等、贈答品も含めて、スーパー、デパート等の動きが活発さを見せている。価格も底堅く、若干高めである。人の動きについても、求人によっては手当等を応急的に対応したように見受けられる。建築関係は、依然として堅調に伸びている。
	□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・製造や事務関係のポジションで慢性的な人材不足の状況が続いている。
	□	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・派遣の採用数が変わらない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比が7か月ぶりに増加となっている。
	□	学校 [専門学校]（副校長）	それ以外	・気温上昇や悪天候の増加といった気候変動による各所への被害があり、物価の上昇が今後の懸念材料となっている。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—